

2019（平成 31・令和元）年度報告

地域と連携した取組み等【本学の活動事例】

<対象>	<活動事例>
1. 小学校・中学校	スクールサポート、キッズ・ユニバーシティ・おやま
2. 高等学校、大学	高大連携、大学見学、出張講義、高校主催進学ガイダンス、 高校教員対象入試説明会、大学コンソーシアムとちぎ
3. 講座、共同事業	市民開放講座、公開講座、出前講座
4. 教員免許状関係	免許法認定講習、教員免許状更新講習
5. その他	講師派遣、部活動の取組み、ボランティア活動



白 鷗 大 学

1. 小学校・中学校

活動	提携先	学校種	支援内容
スクールサポート 児童生徒への学習・部活動支援	小山市、下野市、古河市、結城市、 （教育委員会） 小山市 ・2006年度支援開始 ・2007年度協定締結 下野市・古河市 ・2009年度協定締結 結城市 ・2015年度協定締結	小学校、中学校	・国語、算数、数学、理科、社会、英語（HLT, ALT のアシスタント）の学習支援 ・基礎、基本的学習内容の個別指導 ・図工、家庭科、体育、音楽等における実技指導の補助 ・特別支援学級における生活・学習支援 ・部活動支援（陸上、バスケットボール、サッカー等） ・放課後子ども教室の学習サポート ・業間休み、休み時間における児童生徒とのふれあい等
		適応指導教室	「アルカディア」（小山市）、「スマイル教室」（下野市）、「教育支援センター」（古河市）、「フレンドゆうの木」（結城市） ・学習支援や諸活動における補助
		外国人児童生徒適応指導教室	「かけはし」（小山市） ・外国から来日したばかりの児童生徒への日本語指導や生活適応指導

参加学生の延べ人数と支援学校数（過去4年間）

	2016（平成28）年度		2017（平成29）年度		2018（平成30）年度		2019（平成31・令和元）年度	
	学生延人数	学生延人数	学生延人数	支援学校数	学生延人数	支援学校数	学生延人数	支援学校数
栃木県小山市	270人	262人	262人	33校	206人	26校	286人	27校
栃木県下野市	33人	56人	56人	15校	29人	13校	43人	11校
茨城県古河市	10人	9人	9人	7校	4人	5校	8人	4校
茨城県結城市	26人	30人	30人	4校	28人	8校	128人	7校
計	339人	357人	357人	59校	267人	52校	465人	49校

活動	提携先	対象	開催内容
キッズ・ユニバーシティ・おやま 小山市の将来を担う子供たちの知的好奇心を刺激し、学問への憧れを抱く学びの機会を提供する。	小山市（教育委員会） 第1回 2012年 7月28日(土) 第2回 2013年 8月4日(日) 第3回 2014年 7月21日(月・祝) 第4回 2015年 10月12日(月・祝) →第4回：台風18号集中豪雨に伴う水害で中止 第5回 2016年 7月18日(月・祝) 第6回 2017年 7月17日(月・祝) 第7回 2018年 10月8日(月・祝) 第8回 2019年 7月15日(月・祝)	小山市在住 or 市内小学生 6年生対象	小山工業高等専門学校、関東職業能力開発大学校との3校連携実施。 <第1回開講講座>（31名） ①お金って、なあに ②楽しい「心理学」入門 ③科学するところ？ <第2回開講講座>（43名） ①ふうせんたまごを作ろう ②ダンス ③生活と税金（消費税） <第3回開講講座>（45名） ①レクリエーション実技 ②心理学入門 ③哲学入門

		<第 5 回開講講座> (12 名) ①カウンセリング入門！ ②まちをデザインする ③ニュースポーツ <第 6 回開講講座> (28 名) ①法学入門 ～「六法全書」の中をのぞいてみよう！～ ②面白いクモの生態 ③経営学入門—会社について学ぼう— <第 7 回開講講座> (14 名) ①国際関係論入門-トランプ外交って何だ？ ②チャップブックを知っていますか？ ③「法」って何だ。 <第 8 回開講講座> (12 名) ①見えている世界と見えている世界は同じ？ ②小・中学生のキャリアデザイン ③法律を使って身近な事件を解決してみよう！
--	--	---

2. 高等学校、大学

活動	対象校	提携の形態	協定内容・実績
高大連携	白鷗大学足利 高等学校	大学＝高校	英語と教育学部の一部科目。 高校生は特別聴講生として受講 (単位取得可)
<目的> 相互に連携し、交流を深めることにより、両校における教育内容の充実と学生および生徒の資質向上を図る。	小山南高等学校 * 2012(H24)年度より (平成 26・27 年度 実施無)	教育学部＝高校	小山南高校： 栃木県内唯一のスポーツ科を設置。 →専門的な学習・活動のために白鷗大学スタッフの協力体制を要望。 ・大学生による授業、部活動支援などスクールサポート事業、 ・高校による教育実習の受け入れ協力など、さまざまな交流を行う。
	小山城南高等学校 * 2013(H25)年度より	教育学部＝高校	1. 白鷗大生によるスクールサポート 2. 城南高校による白鷗大生の教育実習への協力 3. その他、双方が協議し同意した事項
大学見学	県内外の高等学校		昨年度実績(H31・R1)：10 校
出張講義	県内外の高等学校	教員	昨年度実績(H31・R1)：10 校 11 講義
高校主催進学ガイダンス	県内外の高等学校	教員、職員	昨年度実績(H31・R1)：60 校 * 業者主催の会場ガイダンスを除く
高校教員対象 ／入試説明会	他県を含む高等学校	<主な参加者> 進路指導主事 3 学年担任教諭	近隣県、栃木県南・県北の高等学校の先生方が出席しやすい環境を整えるため、国際医療福祉大学と共催実施。 ① 白鷗大学開催 (R1.6.6 実施) ：66 校・71 名の先生が参加 栃木県 46 名、茨城県 14 名、福島県 6 名、宮城県 1 名、群馬県 4 名 ② 国際医療福祉大学開催 (R1.6.19 実施)

大学コンソーシアム とちぎ *平成17年4月に結成	栃木県内19の 高等教育機関	協団体	特色のある栃木県下の高等教育機関が連携することで、大学の特色を一層発展させるとともに、各大学の教育・研究の充実・発展に寄与する。また大学が持つ多様な知的資源を有効に活用し、県・自治体及び産業界のみならず、広く県民と連携し、地域の活性化につなげ、魅力ある栃木県づくりに貢献する。
---------------------------------	-------------------	-----	--

● 高大連携：鹿沼高等学校 H31年・R1年度実施／検討事例

分野	対象	内容
① サポート	2年生	課題解決型学習プログラム「クリエイティブフォーラム」の支援 (発表会に向けたアドバイスを本学学生が行った)
② サポート	2年生	課題解決型学習プログラム「クリエイティブフォーラム」発表会 (前回支援を行った本学教員が発表会にコメンテーターとして参加)
③ 講演会	1年生保護者	「高校生になった我が子の理解」
④ 講演会	1～3年生全員	主権者教育について

● 高大連携：小山城南高等学校 H31年・R1年度実施／検討事例

分野	対象	内容
① ピアサポート	3年生国語研究、ファッションデザインの受講生	ピア・サポート授業 講師の講義とピア・サポート・スタッフ学生によるロールプレイ ピア・サポート・スタッフ学生によるコミュニケーション・スキル向上のためのロールプレイを実施。
② 講演会	1年生全員	講演テーマ「アニメ、メディア産業について」

3. 講座、共同事業

名称・目的	開講・募集	内容・開講数・受講者数など	
白鷗大学市民開放講座 ・大学の正規授業を広く一般市民に開放。 ・市民に専門的な学習機会を提供する。 ・大学のスクールバスや図書館等の施設利用可。	前期・後期で受講生を募集 *結城市は平成28年後期から開放開始 共催：小山市教育委員会 (生涯学習課) 結城市教育委員会 (生涯学習課) 申込：小山市教育委員会 結城市教育委員会 対象：市内在住・勤務通学者	<H31年・R1年前期> 85科目開放 【小山市】36科目：のべ53名 【結城市】3科目：のべ3名	<R1年後期> 99科目開放 【小山市】33科目：のべ47名 【結城市】3科目：のべ3名

白鷗大学公開講座 前期・後期で 受講生を募集	市民向けに専用講座を 開講 1 講座（全 1 回～ 4 回） 申込： 白鷗大学(地域連携サポート センター) 対象： 一般市民・学生	<H31・R1 前期・開講テーマ> 「平成期の民法改正」を考える （22 名） 落語や歌舞伎の味わい（53 名） 著作物の権利と利用 （12 名） 便利な道具：コンピュータ活用 の基礎の基礎 （11 名）	<R1 後期・開講テーマ> 刑事裁判の中をのぞいてみよう （16 名） 外国を訪ねて日本を想う （25 名） 農産物の知財 地理的表示 GI と地域ブランド （7 名） エクセル活用の基礎 （7 名） PCM 講座 （8 名） ★大学院公開講座 全 14 回 （18 名） ①公認会計士としての仕事から 学んだもの（開講式） ②古典芸能に学ぶ経済学と経営学 ③アフリカに進出する中国企業 について－『華堅集団』を中心に ④「私の経営」 理念・戦略・社員採用から教育 ⑤近江商人とその経営 －地域社会への役立ち－ ⑥近世の米市場 －先物取引の誕生－ ⑦地政学リスクと日本企業の対応 ⑧財務諸表の基礎 ⑨会計基準を理解する必要性 －負ののれんをめぐる 2 つの基 準の取り扱い－ ⑩トランプ外交とアジア ⑪シニアの大学院教育（IV） ⑫人工知能入門 ⑬日本経済の現状と課題 ～平成から令和へ～ ⑭経済社会の変容と飛躍をめぐ って ～リミナリティ（liminality）とは （修了式）
おやま・まちづくり 出前講座	講師等の派遣 主催：小山市教育委員会 （生涯学習課） 対象：小山市内在住等の 10 人以上団体 会場：市内の公共施設・自治会 の公民館・企業・個人宅	<H31・R1 実績> 3 講座開設：のべ 88 名 出前講座メニュー（10 講座） 中学生、高校生のための国際理解講座 中学生、高校生のための英語上達法 やさしく学ぶ経済学 現在の経営学 身近な法律を考える 世界の文化を学ぶ 芸術の世界 （32 名） スポーツ健康の楽しみ これからの社会の行くえ まちづくりとボランティア （66 名）	

4. 教員免許状関係

(1) 栃木県教育委員会免許法認定講習（栃木県教育委員会事務局 教職員課総務担当）

＜目的等＞

- ・ 栃木県教育委員会が開設する免許法認定講習
- ・ 免許法認定講習とは、免許法及び免許法施行規則の規定に基づき開設する講習
- ・ 栃木県内の教育職員を対象に、上級免許状や他校種免許状の取得に必要な単位の習得の機会を提供し、教育に携わる職員の資質の向上を図る。

● 本学／教員派遣、会場貸出

＊ 本学以外に宇都宮大学でも実施。本学会場実施は平成 17 年度以降（毎年 8 月に実施）。

【白鷗大学会場の状況】

- ①平成 24 年度 8 月 6 日（月）・ 7 日（火）：4 科目（本学講師 専任 3 名＋県外講師 1 名）
- ②平成 25 年度 8 月 6 日（火）・ 7 日（水）：3 科目（本学講師 専任 2 名＋本学非常勤講師 1 名）
- ③平成 26 年度 8 月 6 日（水）・ 7 日（木）：3 科目（本学講師 専任 2 名＋県外講師 1 名）
- ④平成 27 年度 8 月 10 日（月）・ 11 日（火）：4 科目（本学講師 専任 3 名＋県外講師 1 名）
- ⑤平成 28 年度 8 月 8 日（月）・ 9 日（火）：3 科目（本学講師 専任 2 名＋県外講師 1 名）
- ⑥平成 29 年度 8 月 7 日（月）・ 8 日（火）：3 科目（本学講師 専任 2 名＋県外講師 1 名）
- ⑦平成 30 年度 8 月 6 日（月）・ 7 日（火）：3 科目（本学講師 専任 2 名＋県外講師 1 名）
- ⑧令和元年度 8 月 5 日（月）・ 6 日（火）：3 科目（本学講師 専任 2 名＋県外講師 1 名）

(2) 白鷗大学／教員免許状更新講習

教員免許状更新講習実施状況

実施年度	講習数計	必修	選択必修	選択	延べ受講者数	定 員	備 考
平成 21 年度	14 講習	1	—	13	549 人	1,170 人	更新講習開始
平成 22 年度	14 講習	1	—	13	693 人	600 人	
平成 23 年度	18 講習	1	—	17	1,419 人	940 人	
平成 24 年度	21 講習	1	—	20	1,072 人	980 人	
平成 25 年度	23 講習	1	—	22	1,061 人	1,048 人	
平成 26 年度	27 講習	1	—	26	1,200 人	1,286 人	
平成 27 年度	26 講習	1	—	25	1,252 人	1,244 人	
平成 28 年度	28 講習	1	2	25	1,500 人	1,574 人	
平成 29 年度	24 講習	1	2	21	1,285 人	1,461 人	
平成 30 年度	39 講習	2	3	34	2,249 人	2,284 人	
令和元年度	38 講習	2	3	33	1,676 人	2,264 人	

平成 31 年・令和元年度 教員免許状更新講習表

講習日	区分	講習名	講師名	受講者数 / 定員	定員充足率
8月6日(火)	選択	教育データの統計的分析	樋口和彦	11 / 40	27.5%
	選択	ハンドベル体験講座	荒井弘高	33 / 35	94.3%
	選択	児童生徒の発達課題と発達特性に対する対応	伊勢正明	45 / 50	90.0%
	選択	小学校社会科における地理および歴史的視点から考察する地域学習	奥澤信行	26 / 50	52.0%
	選択	全教諭のための英語コミュニケーション力養成	リチャード・トッド・ラルー	26 / 30	86.7%
8月7日(水)	選択	教育データの統計的分析	樋口和彦	17 / 40	42.5%
	選択	ハンドベル体験講座	荒井弘高	33 / 35	94.3%
	選択	発達障害幼児の集団作り	伊勢正明	47 / 50	94.0%
	選択	小学校理科の観察・実験－生命分野を中心として－	山野井貴浩	12 / 30	40.0%
	選択	子どものすこやかな体を育てる(身体のこと、健康のこと)	金田健史/薮井信成	109 / 120	90.8%
8月8日(木)	必修	最新の教育事情(小・中・高 教諭向け)	小泉祥一/伊勢正明	213 / 250	85.2%
8月9日(金)	必修	幼児教育の最新事情	伊勢正明/山路千華	85 / 100	85.0%
	選択	教育データの統計的分析	樋口和彦	15 / 40	37.5%
	選択	学校の感染症対策(学校感染症に適切に対応する)	岡田晴恵	90 / 100	90.0%
8月19日(月)	選択	I C T の発展とその利用	山田徳彦	22 / 30	73.3%
	選択	保幼小の連携	伊勢正明	40 / 50	80.0%
	選択	子どもの版表現	齋藤千明	34 / 35	97.1%
	選択	英語教育における I C T 活用	奥山慶洋	14 / 45	31.1%
8月20日(火)	選必	学校をめぐる変化と組織的対応	金井正/荒川麻里	84 / 100	84.0%
	選必	教育相談(いじめ・不登校への対応を含む)	伊東孝郎	130 / 150	86.7%
8月21日(水)	選必	教育課程経営の意義と実際(カリキュラム・マネジメントのとらえ方)	小泉祥一	62 / 100	62.0%
	選択	児童・生徒の P T S D 障害への対応と法的責任	石川信	59 / 70	84.3%
	選択	乳幼児期の発達と障害	浅田晃佑	47 / 50	94.0%
	選択	ハンドベル応用講座	荒井弘高	7 / 35	20.0%
8月22日(木)	選択	I C T の発展とその利用	山田徳彦	5 / 30	16.7%
	選択	ピアノアンサンブル	今田政成	37 / 48	77.1%
	選択	ボールゲームの系統的な指導のあり方	内田雄三	39 / 50	78.0%
	選択	心理学ワークショップ－自己理解とコミュニケーションのために－	伊東孝郎	27 / 30	90.0%
	選択	愛着障害の理解と対応	伊崎純子	47 / 50	94.0%
8月23日(金)	選択	ピアノアンサンブル	今田政成	16 / 48	33.3%
	選択	学校の感染症対策(学校感染症に適切に対応する)	岡田晴恵	70 / 100	70.0%
	選択	ボールゲームの系統的な指導のあり方	内田雄三	18 / 50	36.0%
	選択	器械運動の系統的な指導のあり方	濱崎裕介	14 / 30	46.7%
	選択	心理学ワークショップ－自己理解とコミュニケーションのために－	伊東孝郎	27 / 30	90.0%
8月24日(土)	選択	ハンドベル体験講座	荒井弘高	32 / 35	91.4%
	選択	ピアノアンサンブル	今田政成	16 / 48	33.3%
	選択	特別支援教育コーディネーターの業務	伊勢正明	41 / 50	82.0%
	選択	心理学ワークショップ－自己理解とコミュニケーションのために－	伊東孝郎	26 / 30	86.7%
認定者実数 566	必修 298	選択必修 276	選択 1,102	1,676 / 2,264	74.0%

※平成 23 年度～平成 27 年度の必修講座の「学校における危機管理上の課題」の講師派遣は、県教委(教職員課)に依頼しました。

5. その他

(1) 講師派遣件数

派遣年度	H31・R1
計	62
栃木県	44
茨城県	1
東京都	9
埼玉県	4
静岡県	1
千葉県	2
宮城県	1

※栃木県内の派遣先

栃木市教育委員会教育長	1	芳賀町市学校保健	1
矢板市教育委員会	1	那須地区養護教育研究会 冬季全体研修会	1
小山市総合政策部文化振興課	1	ハンドベルフェスタ inOYAMA	2
(一財) 栃木陸上競技会	2	栃木県教育委員会事務局総務課	1
栃木県小学校教育研究会芳賀支部	1	小山市教育研究会 小学校体育	1
佐野市教育委員会	1	栃木県教育委員会	1
栃木県総合教育センター	2	宇都宮市子ども部保育課	1
公益財団法人栃木県体育協会	2	社会福祉法人誠和会 法人内研修会	1
小山市役所保健福祉部	1	第 77 回国民体育大会栃木県競技力向上対策本部栃木県タレント発掘	1
真岡市教育委員会	1	栃木県教育委員会事務局	1
栃木県体育協会	1	小山市教育委員会 教育長	2
栃木市長	1	小山市長	2
下都賀地区小学校教育研究会	2	栃木県教育委員会事務局 スポーツ振興課長	1
小山市保健福祉部こども課	1	佐野市立犬伏小学校 校長	1
栃木県体育連盟	1	小山市立中央図書館	3
小山市教育委員会	1	栃木県選挙管理委員会	1
那須町黒田原第 2 保育園	1	栃木県高等学校野球連盟	1
佐野市立閑馬小学校	1		

(2) 部活動の取組み

硬式野球部	小学生・中学生を対象とした野球教室を開催している。
陸上競技部（女子駅伝）	毎月 2 回「土曜マラソン大会」、年 3-4 回の「白鷗大学記録会」を開催している。 県や地域の陸上協議会、高体連の大会への役員協力などを行っている。
ラグビー部	小学生・中学生を対象とした栃木ラグビースクールを開講中。
ダンス部	地域の子供たちに発達段階にあわせた創作ダンスを指導している。 チアペコ(幼稚園)、プチペコ（小学 1,2 年）、ペコジュニア（小学 3-6 年）ペコキッズ（特別支援児）と年齢別チーム編成。1 年間の練習成果を 12 月ダンス発表会で披露。
若者選挙推進部（TEP）	栃木県と連携し、栃木選挙ユースサロン、選挙啓発活動・イベント等に参加している。 また、小山市役所選挙管理委員会と連携し、ラジオによる選挙啓発、白鷗祭の協力、選挙啓発活動・イベント等に参加している。 その他、明るい選挙推進協力として、選挙啓発活動・イベント等に参加している。

サッカー部	毎月2回幼稚園でのサッカー教室を開催している。 毎年8月、11月に野木町にて小学生対象のサッカー教室を開催している。
卓球部	県内の高等学校、中学校との練習試合や合同練習を行っている。
ハンドベル部	J R 小山駅の中央自由通路「さくら道」開通の周年記念イベント「さくら道まつり」(6月)のコンサートに参加している。また、小山市主催のハンドベルフェスタ in O Y A M A (10月)に参加のほか、小山市・小山市文化協会主催の小山市民音楽祭(12月)に参加している。 小山市の市民チームで結成された団体である「ベルのわ」に所属し、関連するハンドベルクリスマスコンサート(12月)にも参加。 その他、市長からの依頼を受け、中国・紹興市との友好関係10周年を祝う、紹興市訪問団の歓迎式典と晩さん会(8月)にてオープニングアクトを勤めた。 小山青年会議所創立50周年記念式典(9月)にて演奏を行った。
茶道部	近隣の幼稚園、小学校、中学校、介護施設、養護施設等で茶道体験教室を開催したり、開催のお手伝いをしている。小山市まちの駅思季彩館においても、茶道体験教室を実施した。 また、小山グランドホテルにて小山青年会議所の50周年式典でお茶の提供をした。 小山市岸家代官屋敷での茶会を開いた。
箏曲部	小山近隣の幼稚園や保育園でミニコンサートの開催や、小学校、中学校でお琴の体験会を開いている。 また、インターナショナルフェスティバルでは地域に住む外国の方とお琴の体験を通じて交流している。
少林寺拳法部	11月に小山警察署の方と協力し、交通安全のイベントを行ないました。内容と致しましては、全国大会で披露した演舞の発表と交通安全の大切さを伝えてまいりました。

(3) ボランティア活動

小山駅東口新駅前広場 美化愛護会	本学の学生会が駅東・駅東通り2丁目の両自治会と協定を結び美化組織を発足。
未来創造ネットワーク白鷗	NPO 団体など地域の様々な団体と連携し、ボランティア活動に取り組む団体。
ボランティアグループ 「ひまわり」	犯罪被害支援活動。刑事訴訟法ゼミの学生中心。 小山市や警察署と連携し、犯罪被害者のつどい等でお手伝いをした。